

平成 29 年度 活動レポート : 長野市平生産管理組合の活動支援

■背景とねらい

長野市芋井の平生産管理組合(組合員 38 名)は、中山間地域という条件不利地域で、住民らが協力し大豆や水稲を共同耕作して農地を適正に管理し、遊休農地の発生を防止している。

今年度は、その取組内容を広く周知するため、「遊休農地活用功績者表彰事業」への応募を支援した。

■本年度の取組と成果

平成 30 年 2 月 5 日(月)、長野市若里市民文化ホールで開催された、遊休農地活用シンポジウムで、最高の賞である県知事賞を受賞した。

ケールに根こぶ病が発生のため、6 棟のうち 3 棟で、代替品目としてミニトマト(2 棟)とつるなしインゲン(1 棟)を作付けした。



県知事賞を受賞

■今後の課題と対応

代替品目としてのミニトマトを中心とした、栽培技術指導と、遊休農地発生防止への活動支援を実施する。

(地域第一係)

平成 29 年度 活動レポート : 須高アスパラガスセミナー・修了生の会の開催

■背景とねらい

セミナーは J A ながの須高営農センターと共催で、新規就農者や定年帰農者等を対象に、基本的な知識と技術の習得を目的に開催している。

修了生の会は、セミナー修了後も継続的に知識・技術やモデル農家の事例を学ぶための場として立ち上げ、現在会員 10 名、合計栽培面積は約 1 ha となっている。

■本年度の取組と成果

3 月から全 10 回の講座とハウスの施工に関する特別講座を開催した。受講生は 7 名で、うち 2 名が新規栽培に向けて取り組んでいる。

修了生の会は、ほ場巡回やセミナーへの参加、交流会等を行い、モデル農家を中心に須高地域に合った技術の普及を進めている。また、セミナー受講生と修了生が交流できる場を設けることで、栽培意欲の向上と、地域の先輩農家との交流を図ることができた。

【講座内容の一例】

- 6 月 定植実習と定植後の管理について
- 9 月 優良農家視察
- 12 月 茎枯病防除のためのバーナー実習
- 1 月 雨よけハウスの施工について



バーナー実習の様子

■今後の課題と対応

現在、須高地域におけるモデル農家は 1 戸で、10a 当たり 3t の収量を目指せる新たなモデル農家の育成が課題である。

(地域第三係)